



# 神戸学園都市



## ワイズメンズクラブ

THE Y'S MENS CLUB OF KOBE GAKUENTOSHI  
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2020年1月（通巻307号）

### < 主題 >

- ・神戸学園都市クラブ会長：杉本隆人：「広げようワイズの和、令（秩序）をもって」
- ・国際会長：Jennifer Jones(オーストラリア)：「Building today for a better tomorrow」
- ・アジア太平洋地域会長：田中博之（日本）：「アクション！」
- ・西日本区理事：戸所岩雄（彦根シャトー）：「風となれ、ひかりとなれ」
- ・六甲部長：柏原佳子（芦屋）：「スピナーカーの帆に風を集めて」
- ・2020年1月強調活動：IBC DBC：前田香代子 国際・交流事業主任（熊本）  
「国内外を問わず、より多くの交流の場を求め、機会を捉え自ら積極的に行動しましょう。」

### 1月第1例会

- ・日時：2020年1月18日（土）18:00～
- ・場所：中華料理「紅宝石」
- ・内容：新年会

### < 今月の聖句 >

「別の道を通して自分たちの国へ  
帰って行った。」

（マタイによる福音書2章12節）

### 1月誕生者おめでとう

- ・阿部信太郎メン(1/4)
- ・仁科拓巳メン(1/7)
- ・田辺征一メン(1/11)
- ・阿部登美子メネ(1/13)
- ・内田京子メネ(1/24)

### 1月の出席状況

- ・在籍者 15名
- ・出席者 9名
- ・出席率 60%
- ・メネ/コメ 2名
- ・功労会員 1名
- ・出席者合計 12名

### 1月累計ファンド成績

- ・ニコニコ 0円
- ・CS(年賀切手) 0円
- ・TOF(断食) 0円
- ・FF(家庭の断食) 0円
- ・BF(古切手) 0円
- ・東日本募金 0円
- ・Yサ・ASF 0円

[役員] 会長：杉本隆人、直前会長：田辺征一、書記：田辺征一、会計：中村 剛、連絡主事：達 直樹

[委員] 地域奉仕・環境：森本哲男、Yサ・ユース：内田邦彦、交流：合田純二、ファンド：野呂 隆、

丹家元陽、EMC：野呂隆、広報・ブリテン：田辺征一、メネット：藤井久子、杉本裕子、メール委員：田辺征一、

[六甲部役員] メネット事業主査：藤井久子

[IBC]台湾高雄ポートクラブ（2004年1月締結）

[DBC]東京武蔵野多摩クラブ（2011年6月締結）

[DBC]岡山クラブ（2018年6月締結）

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町2-1-3 TEL 078-793-7402 FAX 078-793-7470

事務例会：第1木曜日、第1例会：第3木曜日、クラブホームページ

<http://www.kobeymca.org/ys/gakuen/bulletin.html>

## ＜会長通信第六号＞

会長 杉本隆人

2020年がいよいよスタートしました。日本ではオリンピック・イヤーと騒いでいますが、世界では、米中貿易戦争、北朝鮮の核保有化、日韓関係の深刻な状況下にさらされる中、中東での混沌した危機的な状況で、戦争状態といって過言ではないと思います。世界の経済、政治情勢は、日本にとっても非常に難しい舵取りが要求されています。

また、今中国の武漢からの新型のコロナウイルス肺炎が発生し、死者の数も日に日に増えており、日本も4人目の患者がみつきり、決して他人事ではないし、豚コレラ、鳥インフルエンザと検疫体制も後手後手になっている状況です。無駄な外出は本当に控えた方がいいかも知れませんね。

気候・自然災害も、今は、かつてない暖冬が続いている中で、世界では、火山噴火、オーストラリア・南米の森林火災、北極・南極の氷山消失が進行しており、この10年は、まさに激動の時代であることが予想されます。

新年早々から悲観的ことばかりですが、私は、決して悲観論者ではありません。現状を把握すると、このような状態であるという中で、私たちは何ができるのか、何をすれば少しでも打開できないのかをSDGsを通してみんなで考えていきたいですね。

**今年の抱負は、考えるより行動すること。**

(行動するのが、しんどい時は、ともに一杯やりましょう！！)

## ＜1月事務例会報告＞

- ・日時：2020年1月9日(木)19:00～20:30
- ・場所：西神戸YMCA
- ・出席者：内田、杉本、達、田辺、丹家、中村、仁科、野呂、藤井、森本、

### 協議事項

- (1)1月新年会例会 1月18日(土)18:30～20:30、中華料理「紅宝石」
- (2)2月例会 2月20日(木)19:00～ゲームを通して「SDGs」を理解する。  
講師：矢野良晃(公認ファシリテータ)  
西クラブとの合同例会
- (3)台湾高雄ポート20周年記念例会  
日時：2020年3月6～9日  
6日 関空→高雄、前夜祭、高雄泊

7日 記念例会、記念例会、高雄泊

8日 クラブ主催の観光、高雄泊

9日 高雄→関空

(4)三浦克文ワイズ(DBC岡山クラブ)の奈良傳  
賞受賞記念祝賀会

2月8日(土)11:00～14:00

アークホテル岡山、8,000円

最終締め切り 1月18日

(5)協賛金依頼

- ・日本語スピーチコンテスト(YMCA)へ5,000円
- ・メネット事業への協賛金：今年度は具体的な事業がないので、今年度の寄付を見送る

(6)YYYフォーラム委員会：1月9日 本クラブは欠席

(7)CS委員会：1月23日 森本ワイ出席

(8)YMCA報告

- ・ピンクシャツデー(2月26日)、シャツの購入希望者を募る
- ・日本語スピーチコンテスト(3月4日) 県民ホール

(9)その他

○3月から6月までの例会予定

- ・南海トラフ地震
- ・映画「灯籠流し」森氏
- ・PHD協会主催 留学生との交流会
- ・フルートアンダンテ

○他クラブ行事・その他

- ・神戸西クラブ1月例会(1/28)、「城ノブの生涯」  
講師：城純一氏(神戸クラブ)
- ・さんだクラブ 2月16日(土)14:30～  
第27回バレンタインコンサート、  
アクトスクエア 1,200円
- ・神戸クラブ創立90周年記念例会  
2月22日(土)14:00～  
新神戸ANAクラウンホテル 会費10,000円
- ・会長研修 3月7,8日 柴田ワイ参加
- ・きらりと輝くアート展 4月28・29日(火・日)、兵庫県民アートギャラリー

## ＜1月新年例会報告＞

出席：内田、合田、柴田、杉本、達、丹家、仁科、野呂、森本、合田メネット、阿部功労会員、阿部メネット

欠席：隠樹、田辺、辻本、中村、藤井  
学園都市ワイズメンクラブ2020年1月の新年例会は1月18日、中華料理連“紅宝石”で6時30分から行われました。出席者は12名。

開宴に先立ち杉本会長から「今夜は、美味しい料理とお酒をいただき、楽しくやりましょう」とのご挨拶がありました。出席者全員大いに語り、飲み、食べ、楽しいひと時を過ごしました。

前日の1月17日が“阪神大震災”で被災してから25年の節目の日でしたが、これに関する話題はなくて少し寂しい気もしました。

12月にベトナムへ行かれた達さんから地方都市に住む人たちの暮らしぶりなどの紹介がありました。現在の日本とはずいぶん違うという印象でした。日本とベトナムの民間交流の役目はしっかりすることが出来たようです。

(内田邦彦)



ご馳走いっぱい、お酒いっぱい、大満足！



### <鹿児島クラブ30周年記念例会>

1月18日、鹿児島ワイズメンズクラブ創立30周年記念例会・鹿児島YMCA創立10周年記念式典に出席しました。当日の参加者は120名、六甲部からはDBCの宝塚クラブの6名を入れて9名が参加しました。

第1部のYMCA10周年記念礼拝・式典には鹿児島県知事および市長の来賓祝辞もあり、厳かに行われました。

第2部のクラブ30周年記念例会では、これまでの歩みをスライドで振り返り、西日本区理事、九州部長の祝辞をいただきました。

第3部では「ワイズメンズクラブとYMCA～ウエルネスからの再考～」と題して元・鹿屋体育大学教授の柳敏晴ワイ（神戸西ク）の講演がありました。柳さんにはYMCA設立当初、いろいろとご指導とご助言をいただきました。

第4部の懇親会では鹿児島YMCA活動の目玉であるチアダンス・スクールの子供たちが日ごろの成果を披露。会場は子供たちの保護者を加えると総勢400人ほど。200名近い子供たちが、さして広くもない会場で飛んだり跳ねたり。そのたびに、床が震度2程度揺れるので、ひや冷やしました。小学生低学年から高校生まで、若いエネルギーを一杯いただいたひと時でした。

(田辺征一)



“六甲部で～す。神戸から来ました。”

### 「エーゲ海クルーズ紀行

#### ギリシャの休日11日間」(第6回)

9月20日(つづき)

PM4:30 船はサントリーニ島に到着。ここで下船する我々は、最後のテnderボートで上陸。港に着くも1人の女性メンバーが海に落ちないかと心配する程、身を乗り出してスーツケース用のテnderボートの中を覗き込んでいる。スーツケースが見当たらないという。少し小型だったので、他の外国人のグループの中に混ざっていたらしく、ようやく見つけた御主人が取りに行くと「ドロボー(何語?)」と言われたが「it's mine」で結着しやれやれ。

遠くから見ると岩山の上に雪を戴いたように家々が連なっているが、港から上までは約300m。ほぼ垂直の切り立った崖で、紀元前15世紀に起った火山の大噴火で島の中心部が沈み、今の三日月形の島ができたとの事。この崖に作られたつづら折りの狭い道をバスは喘ぎながら昇る。この時思いがけないアナウンスが添乗員さんから。「今夜のホテルはダブルブッキングで泊まれなくなりました。色々、当たってみたのですが、Firaの街から少し離れたホテルになりましたので誠に申し訳ありません。まず夕食を済ませてからご案内します。」第3のピンチ！車内に重い空気が。フィラの街の細い道を散策しながら着いたレストランは眼下に海をのぞみ、目の前のゴツゴツした島は1956年の大噴火でできた火山島で、この時の噴火でフィラの街やイヤの街のほとんどが崩壊したという。現在の街並みは、その後に出てきている。真青な空と海、その向こうのティラシア島に沈む夕日が美しい。ここのビールは2種類ありアルファは味がしっかり、ボルケーノ（火山）はネ

ーミングの割にあっさり爽やか。イカリングのフライと共にギリシャサラダ。メインはカジキマグロのスプラキ（串焼き）ライス添え。マグロは大概パスつく感じだが、塩、コショウ、ハーブでの絶妙な味付けで完食。デザートはアイスクリームでフィニッシュ。バスまでの帰路、とっぷりと日も暮れ白い壁に街の灯りが映える。ホテルのプールの青さがあちこちに見えて実に美しい夜景。そしてバスに乗る事約20分。ここで降りろと言う。道が狭くなるのでホテルの前まで行けないらしい。暗い中をスーツケースを押しでこぼこ道をガラガラと歩く事約200m、さぞかし近所迷惑だった事だろう。着いた先はCosta Grand Resort & SPAの白い建物。案内された部屋は1F2室2F2室の2階建てが点在。2Fの部屋に入ると白一色でかなり広い。うがいをしようと水を含むとアレツ？ほんのりと塩の味がする。聞く所によると、雨が少ない火山島なので海水を淡水化して使っているという。

（丹家元陽）

### ＜ 今月の聖句 ＞

「別の道を通して自分たちの国へ帰って行った。」

（マタイによる福音書2章12節）

あけましておめでとうございます。

今年もワイズ活動が神様の導きの中でおこなわれますように。

島根県・六日市からの帰り道、久しぶりに野ウサギに出会いました。薄茶色のわりと小さな野ウサギでした。山の蔭から出てきたと思うと、車の前を一緒に走っています。右か左に寄ってくれればいいのですが、車のライトに照らされた道をひたすら真っ直ぐに走っているのです。追い抜きにかかるとその方に寄ってくるし、スピードを落とせば走るのがゆっくりとなる。どうすればいいかなと思っていましたら、やっと左の藪へ消えて行きました。もうそろそろ限界にきて疲れているなとわかる走りでした。ただひたすら真っ直ぐに走るだけがいいのか。それとも一度わきにでて、また走る道を見定めてみるのがいいのか。いろいろと考えさせられました。計画が思い通りに進まないことがあります。それしか見えないときはちょっと深呼吸して別の道をさがしてみるのもいいです。新しい年はいろいろな角度からワイズ活動を見る年になればと願います。

西日本区チャプレン立野泰博（熊本ジェーンズ）

西日本区理事通信 2020年1月号から転載